

【研修報告】

令和7年度 第2回 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

『在宅での心不全管理について

～入院をさせないための在宅ケア～』

令和7年9月25日(木) 14時～15時

講師：富永 僚 様

訪問看護ステーション

まちのかかりつけナース 代表



今回は訪問看護ステーションまちのかかりつけナース代表の富永様をお迎えし、在宅での心不全管理について、ご講義いただきました。

心不全の病態生理など基礎的な内容から、支援する際に観察ポイントや多職種連携についてのお話まで、幅広い内容となりました。心臓の構造・機能から“右心不全”“左心不全”の症状の違いがよく理解でき、入退院を繰り返さないように生活の管理が大切であることも再認識しました。在宅を支える多職種が、生活の視点を持って支援に臨むことができればと思います。また、講義の中で、富永様の在宅にかける熱い思いも聞くことができ、参加者の皆様も熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

今回もかけはしいさはやのホームページにて期間限定でYouTube 配信を行い、17名の方が視聴されました。今後も、できるだけ多くの方に参加していただけるような研修会を考えていきたいと思います。

参加者の感想(一部抜粋)

- 心不全パンデミックと言われている現代において、心不全について学ぶことは必須だと思います。個別性のある関わりをしつつも、支援のポイントをよく理解し、看護を行っていききたいと思います。
- 生活に視点をあてるということはいいいですね。普段関わっていないとわからないので、関わりを大切にしていきたいと思います。
- テキストにはない細かい症状の説明があり、分かりやすかったです。
- 心不全の病態や観察ポイントを再認識することができた。

次回は12月4日(木)19時から、諫早市薬剤師会から池田理恵先生を講師にお迎えして、薬に関する研修会を開催予定です。

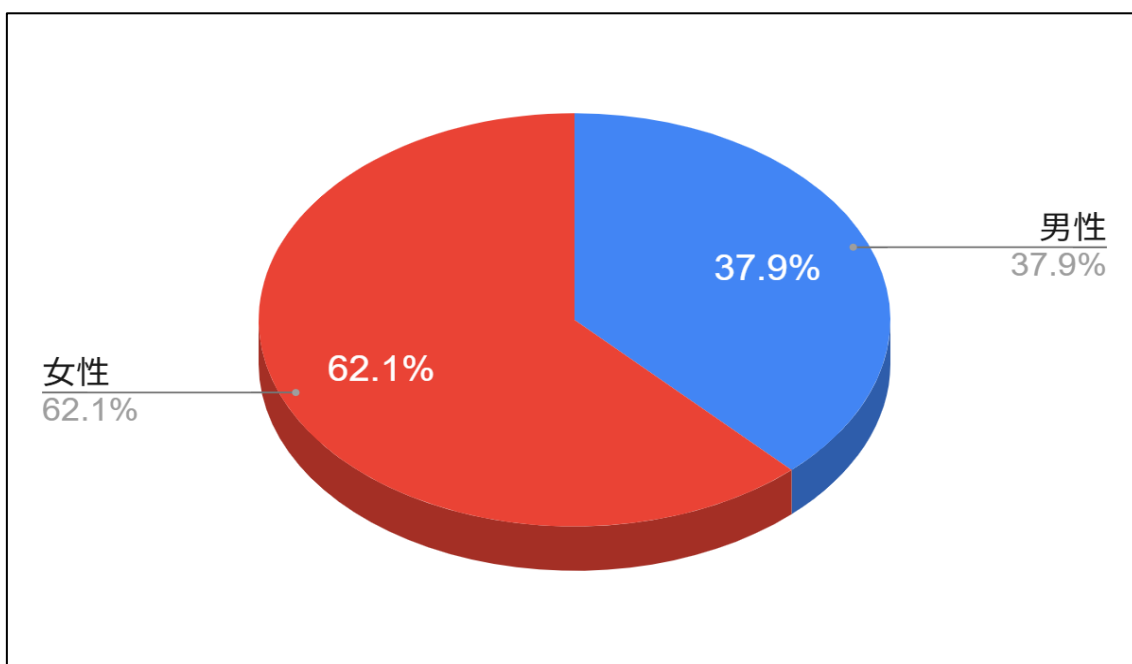
令和7年度 第2回在宅医療・介護関係者研修会

『在宅での心不全管理について ～入院をさせないための在宅ケア～』アンケート結果

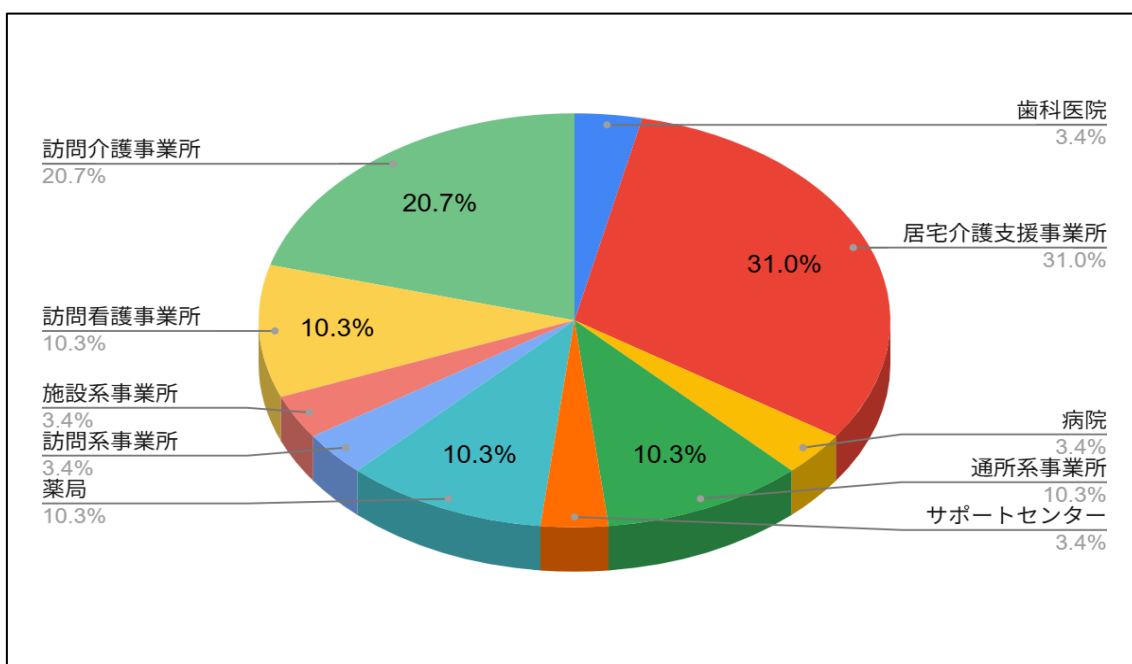


参加者：会場 28 名/動画 17 名 回答者数：29 名(65%)

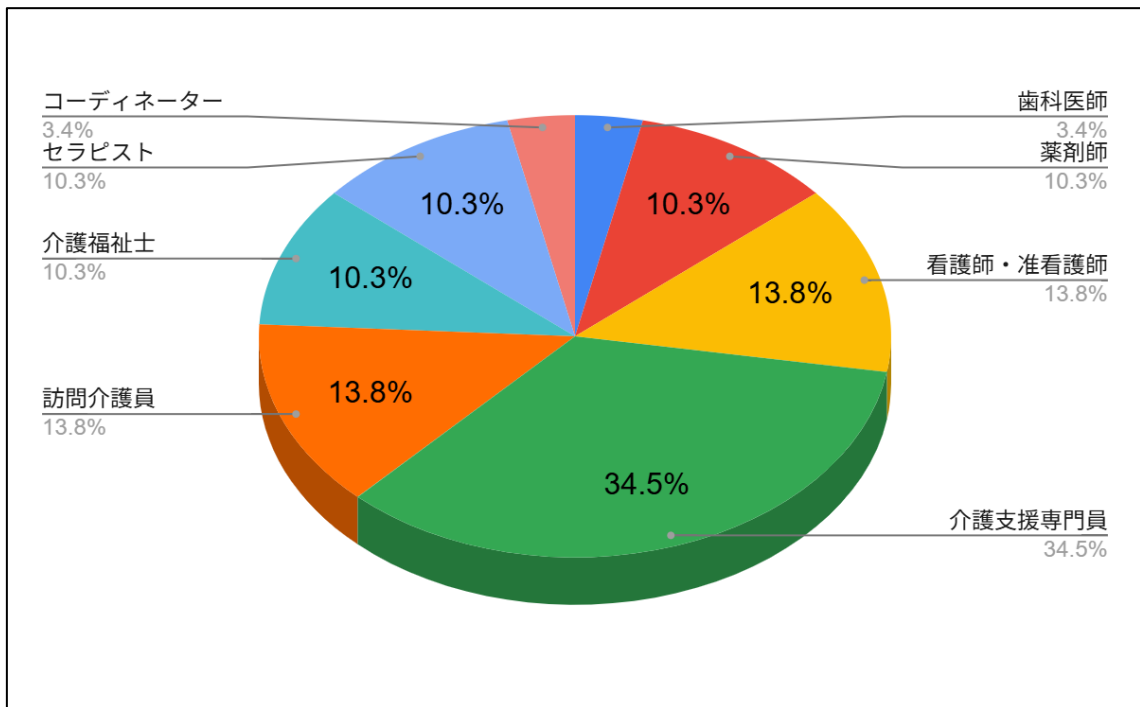
1. 性別（男性 11 名/女性 18 名）



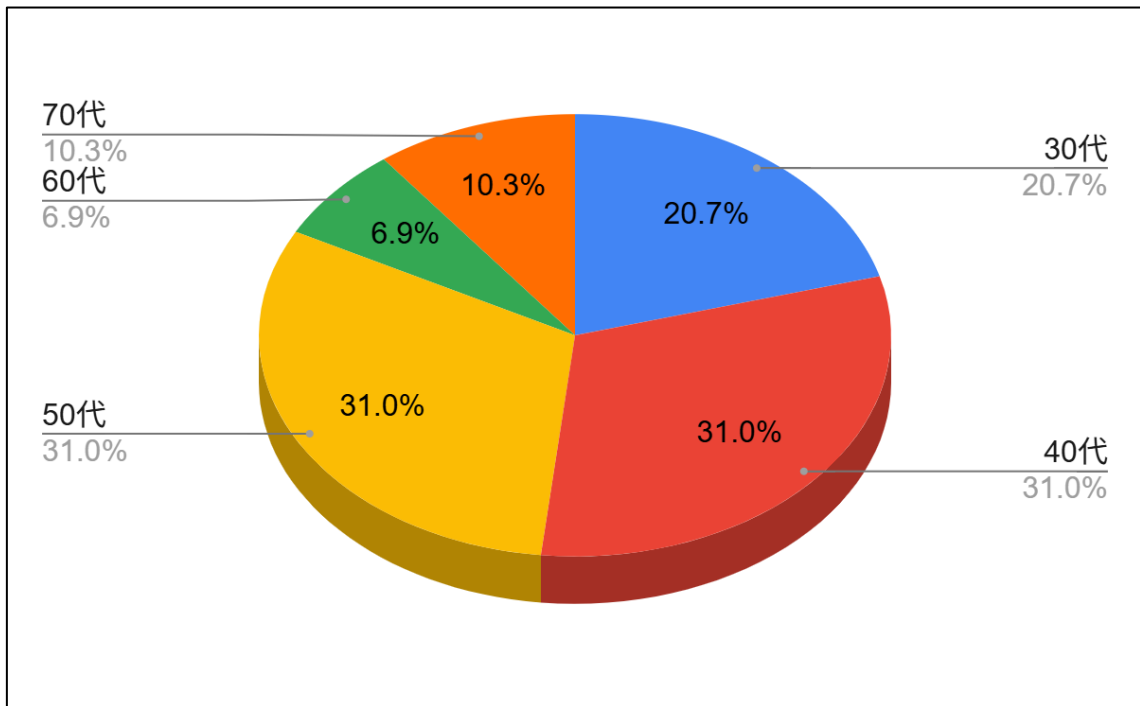
2. 所属



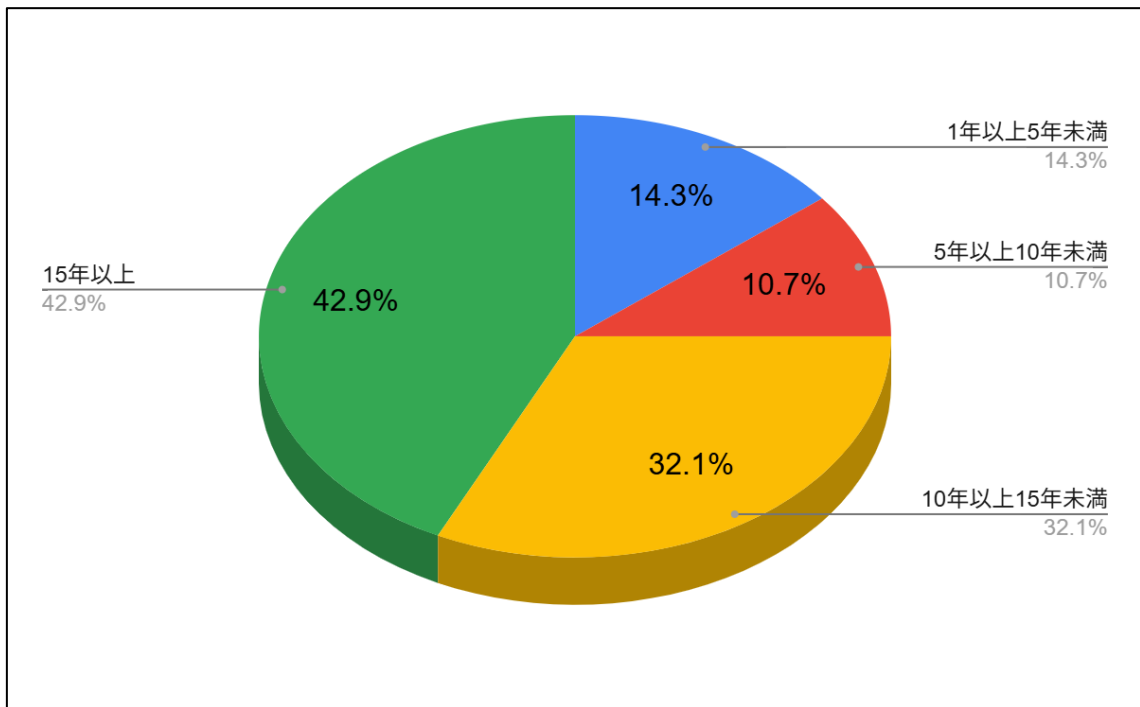
3. 職種



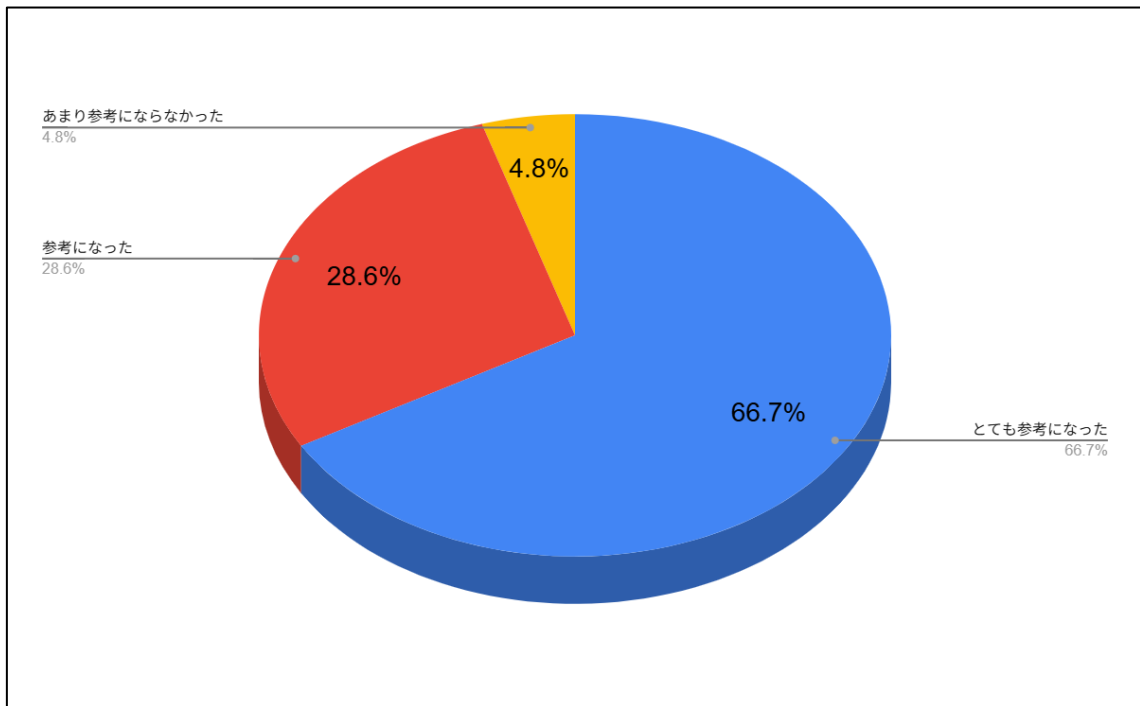
4. 年齢



5. 職場の経験年数



6. 本日の研修内容はいかがでしたか



7. 本日の研修の感想をご自由にお書きください。

- ・身近な病気でもあり、係わる中で色々と目を向けていければと思う。
- ・生活に視点をあてるといいですね。普段関わっていないとわからないので、関わりを大切にしていきたいと思います。
- ・心不全の患者さんは入退院を繰り返すことが多く、生活習慣や管理で予防できる部分も多くあります。入院して集中的に治療をしても、生活が整っていないとすぐ悪くなってしまう。高齢者のみの家庭や認知症の方が増える中、在宅関係者の方の生活支援はとても重要だと感じました。入院中から連携を密に行い、患者さんや家族にあった支援を考えていきたいと思いました。
- ・心不全の定義、心臓のつくり、働きを改めて確認することができてよかった。既往のない方でも心不全になりうるということも初めて聞き、いかに在宅での様子を確認すべきなのだと思います。
- ・心不全について、とても分かりやすい説明で勉強になりました。心臓の障害されている場所で、症状が違うので、日々のちょっとした変化への気づきが重要だと理解しました。
- ・日頃の生活状況、血圧の管理など心不全のみならず、全体的な病気として予防につながると理解しました。
- ・「まちのかかりつけナース」「人生のお手伝い」というワードは素敵ですね。訪看は地域高齢者が在宅で生活していくために、とても重要な役割を担っていると思います。利用者の生活の質向上のために包括的なケアがいかに大切か学びました。
- ・心不全は症候群で色々な要因で起こり得るということを念頭に入れて、心疾患や高血圧の背景がない高齢者に関しても日々の聞き取りの中で心不全の兆候が出ていないか気を付けていきたい。
- ・多職種に分かりやすくまとめられていて、事例も含めてあり、勉強になりました。
- ・利用者様の症状を早めに気づいて、やろうと思いました。ありがとうございました。
- ・忙しい中、企画・運営ありがとうございました。心不全パンデミックと言われている現代において、心不全について学ぶことは必須だと思います。個別性のある関わりをしつつも、支援のポイントをよく理解し、看護を行っていききたいと思います。
- ・排便コントロールも必要だったと再認識させていただきました。分かりやすいご講義ありがとうございました。
- ・心不全の管理、とても勉強になりました。日頃の様子を観察していくことが大事。早めに気づき、対応していくこと。
- ・運動の管理の指標は勉強になりました。後で詳しく勉強しようと思いました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。

- ・改めて心不全の兆候について復習しました。心不全の利用者は多くいます。なぜ、その症状が起きているのか、しっかりアセスメントし、生活の中で予防できることがないかという視点で見ていきたいと思いました。
- ・心不全の病態や観察ポイントを再認識することができた。普段の利用者さまの状態の把握につなげていきたい。
- ・心不全とはどういう状態かを理解できた。心不全の兆候で右心不全、左心不全のしくみ、兆候を知ることができた。血圧の管理をしっかりする等
- ・心疾患の方は高齢の方に多いと思います。お薬もたくさん服用されておられます。運動、食事などいろいろ制限もあると思いますが、今回のお話で理解できたこともありました。ありがとうございました。
- ・心不全とよく耳にしますが、改めて学習することがなかったので良かったです。訪介、ケアマネ、ヘルパー、Dr.等の関わり方で、その方の人生最期が明るいものになるか、変わるものだと感じました。ありがとうございました。
- ・在宅医療の質向上への熱い思いが伝わりました。左室肥大の過程のお話がとても分かりやすかったです。心不全の病態(ステージ)が一般の方にもっと浸透する必要があると感じました。健診センターの待合室でビデオ等流せば、少しでも情報が入るのかと思います。
- ・テキストにはない細かい症状の説明があり、分かりやすかったです。心肥大、分かりました！
- ・心不全と言っても足のむくみだけではなく、いろんな所に気づかなければならないことを学びました。訪問して利用者様の変化にも気づけることが重要なので、注意していきたいと思います。
- ・在宅医療はこれからもっと大切な仕事になると思いますので、頑張ってください！
- ・心不全の基礎知識の振り返り、学びがあり、とてもいい研修になりました。既往歴がなくても、何かのきっかけで引き起こしてしまうことを念頭に置き、今後利用者の変化はないか、観察しながら関わっていく、大切さを学ぶことができました。
- ・心不全患者様への対応等がすごくわかりやすく、いい研修会でした。現在、私が運営している訪問介護事業所には心不全の利用者様はおられませんが、今後受け入れを考えているので、今日の研修で学んだ事を現場に活かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・講義の中でもありましたが、心不全悪化の原因を潰していけば、再入院は防げます。情薬、感染、過労等声掛けで違ってくることもあります。特に危うい時期と言われる退院後 3 か月間は観察が重要です。そこを強く押して下さったらよかったなと感じました。